

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋西中学校

【取組内容①】 短歌をGoogleスライドにまとめて発表する

2年生の国語では、短歌を扱った授業が行われた。班ごとに分かれて短歌を1点選び、その短歌について考えたり調べたりしたことをスライドにまとめた。

スライドを作成することで、まとめる作業をしたり、分担したりすることが容易になるというメリットを感じた。

また、グループごとに発表に向けてスライドを作成したり、発表の練習を行っている際、お互いに教え合ったり発表し合ったりすることが多くあった。主体的に活動することができる学習になった。

発表では、班によってはクイズを出題する班などがあり、聞き手が興味をもって聞きたくなるような工夫がされていた。聞き手にはワークシートに各班の発表の内容を記入させた。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋西中学校

【取組内容①】 Google jamboardで品詞の分類をする

3年生の英語では、ジャムボードを使って授業を行った。生徒一人一人が試行錯誤しながら操作した。品詞ごとに付箋を分類する、文法を学ぶために正確な語順に付箋を並び替える、という操作活動を行った。かつての方法であれば、板目画用紙を切って、単語を手書きし、生徒数分のカードのセットを用意、それを生徒一人一人に配布し、活動後回収するという準備と実践の際、莫大な手間と時間を費やしていた。ジャムボードを使うことで、授業がスムーズに進み、情報共有もしやすくなった。新しく生み出された時間をコミュニケーション活動の充実にあつかわることができ、主体的な学びを促すことにつながっている。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋西中学校

【取組内容①】細胞の写真を撮って、ジャムボードにまとめる

2年生の理科では、カメラとジャムボードを使用した活動を行った。動物の細胞と植物の細胞を比較するため、顕微鏡を通して見える細胞の様子を写真に撮った。その2種類の写真をジャムボードに貼り付けた。そして2つの細胞の違いや共通点を付箋に書き込んで貼り付けわかりやすくまとめた。まとめ方は生徒一人ひとりの自由で、試行錯誤しながら取り組んだ。班で一つのジャムボードを使い、ページごとで分けることで、班員との比較もしやすく、学習効率と理解度が高まった。また、作成したものを保存し、蓄積していくことで、振り返りもしやすく、知識や考え方が定着していくと考えられる。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋西中学校

【取組内容①】 Googleスライドを用いて、授業の手順、振り返りの記入をする

3年生の授業ではクラウド活用を通し、空想画を制作した。

- ①Googleスライドを用いて目標と前時の振り返りを再確認させた。
- ②導入時に提示していた技法・手法をまとめたスライドを、生徒の判断でいつでも参照できるようにした。
- ③制作の進捗状況を記録するため作品の写真を撮らせた。併せて、今日の振り返りと次時にやることを記述させた。

上記の活動を通し、生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成につながったと考えられる。

振り返りの記述や先生のアドバイス等を通して、デザインを修正したり、自分の制作に用いている技法を繰り返し選び直したり、部分的に時間をかけて丁寧に色付けするなど、学習を調整する態度が身につくことが期待できる。

